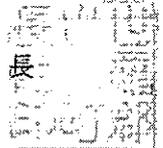


広島県世羅郡世羅町

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

世 羅 町
(建 設 課)



(件名) 今後の道路行政についての意見・提案の提出について
(提 出)

このことについて、別紙のとおり提出します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

広島県世羅町

○改善点

- ・ 元々、道路特定財源は道路施設の利用料金であり、受益者に負担を求めるのが合理的という考えでスタートした税金であり、一般財源化し道路以外の財源とすることは目的外使用と言わざるを得ない。整備費以上の収入（余剰金）があるのであれば、税率を下げるのが本筋と考える。

○要望（全般）

- ・ 暫定税率期限切れに伴い発生した地方の歳入欠陥は、国において補填措置。
- ・ 地方の財源である地方道路整備臨時交付金の継続と自主的に使える財源の充実。
- ・ 整備計画の策定に当っては、生活者目線での安全・安心の確保。
- ・ 格差解消の等の観点から、地方が必要とする道路を確実に盛り込み、計画的かつ着実な推進。
- ・ 国土の骨格となる高速自動車道は着実に整備することによる利便性向上。

○要望（個別）

- ・ 中国横断自動車道尾道松江線の早期開通と、この路線を中心とした地域の活性化を図るための第2インターチェンジやパーキング・サービスエリアの整備に向けた支援と協力。また、陰陽を結ぶ高速バスを支援するバスストップの設置や完成後の道路管理に伴う雇用機会の創出。

○提案（全般）

- ・ 幹線道路（国県道）から市町道路にいたるまで、道路沿線の環境維持や安全対策は重要な課題である。その一つとして防草・除草対策はそれぞれの道路管理者の責務ではあるが、現在の地方自治体は財政状況が厳しく、道路維持管理費の削減もせざるを得ない状況である。そこで、ライフサイクルコストの低減策として、新設道路施工時には路肩に「張コンクリート」を施工しているが、現道沿いについては予算的にも対策が無理であり、国において道路環境維持支援策としての補助制度の検討を願いたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

- ・ 地域の連携強化に資する幹線道路の整備は必要不可欠であり、中国横断自動車道尾道松江線から国道や県道、町道や農道を有機的に結ぶことは、地域発展の重要な役割と考えている。しかし、未だ狭隘な箇所も多いのが現状である。

◇世羅町長期総合計画での表現

本町の幹線道路網は、国道 184 号線が南北、国道 432 号線が東西に走り、この国道と交差する形で主要地方道と一般県道があり、さらには、東西を通称「ふれあいロード」が、南北を通称「フルーツロード」の町道が走っている。

高速交通については、高規格幹線道路である「中国横断自動車道尾道松江線」及び地域高規格道路の「広島中央フライトロード」の整備が進められており、町には甲山（仮称）IC が設置されます。

○課題

◇世羅町長期総合計画での表現

幹線道路網を体系的にみると、概ねネットワークが形成されているが、国道等一部区間のバイパス化による道路網の強化や歩道整備による安全対策を必要としている。

高速交通により、主要都市や広島空港への利便性の向上が具体化し、これに伴う、地域の活性化や発展に大きな効果を発揮するものと期待しており、将来を見通した町づくりを推進することを必要としている。

②-② 地域の目指すべき将来像

広島県世羅町

○将来像

中山間地域である世羅町は、その個性と特性を最大限に活かした農業を中心とした地域活性化に向け、持続可能なまちづくりを目指しており、中国横断自動車道尾道松江線や中央フライトロード整備を契機に、企業立地や定住対策、地域産業の活性化を推進し、地域資源を生かした都市と中山間地域との交流・連携を図り、将来に渡って人・物・情報などの交流がなされることを期待している。

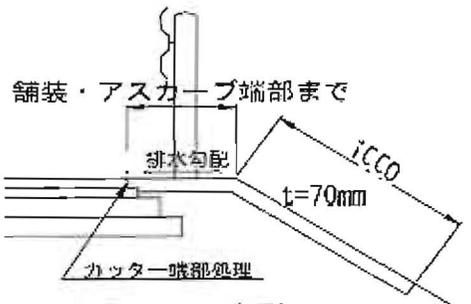
◇世羅町長期総合計画での表現

広域的な連携・交流を推進し、新たな地域発展を誘導していくための基盤として、中国横断自動車道尾道松江線や広島中央フライトロードの建設を促進し、熱度の高い交通ネットワークの形成を図る。また、主要国道・県道の整備を促進することにより、住民と年間200万人を越える観光客の交通利便性を高め、地域の活性化を図る。

地域住民にとってもっとも身近な町道・農林道の有機的な整備を計画的に進めるとともに、その維持管理や計画形成、また、日常生活における安全性や利便性の向上を図る。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

広島県世羅町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
<p>・良好な景観の形成</p>	<p>・路肩に「張コンクリート」施工</p> 	<p>・ 幹線道路（国県道）から市町道路にいたるまで、道路沿線の環境維持や安全対策は重要な課題である。その一つとして防草・除草対策はそれぞれの道路管理者の責務ではあるが、現在の地方自治体は財政状況が厳しく、道路維持管理費の削減もせざるを得ない状況である。そこで、ライフサイクルコストの低減策として、道路沿いの景観・環境維持を目的とした「張コンクリート」を補助対象とし、積極的に実施すれば自ずと良好な景観が形成される。</p>	